

2025 年度 長岡大学シラバス

授業科目名	経営組織論 (Management Organization Theory)					担当教員	生島 義英 (イクシマ ヨシヒデ)	
2020-23 年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型AL／資格対応 科目
	2037-2-23-100	専門科目	選択	2 単位	2 年次	前期		
2024-25 年度 入学者(24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型AL／資格対応 科目
	2437-2-23-039	専門科目	選択	2 単位	2 年次	前期		

① 授業のねらい・概要
本授業では、企業組織の基本的な理論や知識について学修する。組織論の歴史的な発展過程を踏まえ、企業組織を中心とした基礎的な諸理論について学習をすすめる。組織論における諸理論の理解を踏まえ、社会科学に対する深く「考える力」を身につけることを目指す。また、「マネジメント検定試験」Ⅲ級に合格するための知識を習得する。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
職業人として通用する能力／専門的知識・技能を活用する能力
③ 授業の進め方・指示事項
【授業の進め方】 ①前回授業の振り返り ②該当範囲の授業 授業終了後、「振り返りレポート」の作成、「振り返りレポート」は、授業で習得した知識を簡潔にまとめることにより知識の定着を図る。 【指示事項】 ・授業範囲の教科書該当ページを事前に読み込み、わからないことを事前に把握する。 ・グーグルクラスルームを使用するので、使用方法を把握する。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
「経営学」・「企業論」・「経営管理論」・「経営戦略論」を履修することが望ましい。
⑤ テキスト（教科書）※授業で使用する。
経営学検定試験協議会監修・経営能力開発センター編（2023）『マネジメント検定試験公式テキスト（Ⅲ級） 経営学の基本』第7訂、中央経済社
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。
高橋伸夫著、『よくわかる経営管理』、ミネルヴァ書房
⑦ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
日々刻々と変化する企業経営の実態を踏まえ、組織諸理論を理解するとともに最新具体的な事例を紹介する。
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 独力で企業組織に関する基礎的な知識や専門用語を理解し、説明することができる。 (ii) 独力で組織論における諸理論の歴史的な発展の流れを理解し、説明することができる。

⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 企業組織に関する基礎的な知識	企業組織に関する基礎的な知識や専門用語を理解し、説明することができ、授業内容を越えた学修成果を示している。	独力で企業組織に関する基礎的な知識や専門用語を理解し、説明することができる。	資料などを参照し、企業組織に関する基礎的な知識や専門用語を理解し、説明することができる。	教員等の支援を受けて、企業組織に関する基礎的な知識や専門用語を理解し、説明することができる。	企業組織に関する基礎的な知識や専門用語を理解し、説明することができない。
(ii) 組織論における諸理論の歴史的な発展の流れの知識	組織論における諸理論の歴史的な発展の流れを理解し、説明することができ、授業内容を越えた学修成果を示している。	独力で組織論における諸理論の歴史的な発展の流れを理解し、説明することができる。	資料などを参照し、組織論における諸理論の歴史的な発展の流れを理解し、説明することができる。	教員等の支援を受けて、組織論における諸理論の歴史的な発展の流れを理解し、説明することができる。	組織論における諸理論の歴史的な発展の流れを理解し、説明することができない。

⑩ 学習到達目標（評価項目）	定期試験 （レポート含む）	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	85%				15%		100%
（i）企業組織に関する基礎的な知識	42.5%				7.5%		50%
（ii）組織論における諸理論の歴史的な発展の 流れの知識	42.5%				7.5%		50%
フィードバックの方法	授業冒頭に前回授業内容サマリーをフィードバックして知識の定着を図る。振り返りレポートの総評をフィードバックする。						

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）	
1	イントロダクション/組織論とは	授業予定該当ページの読解 疑問点の把握、の復習	120 分
2	組織に関する基礎理論① 科学的管理法	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、科学的 管理法の資料整理と復習	120 分
3	組織に関する基礎理論② ファヨールと経営管理とマネジメントサイクル	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、資料 整理と復習	120 分
4	組織に関する基礎理論③ ホーソン実験	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、資料 整理と復習	120 分
5	組織に関する基礎理論④ 近代的な管理論① バナードの組織論	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、資料 整理と復習	120 分
6	組織に関する基礎理論⑤ 近代的な管理論② サイモンの意思決定論的組織論	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、資料 整理と復習	120 分
7	行動科学に基づく動機づけとリーダーシップ理論① フォレット による統合の哲学	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、資料 整理と復習	120 分
8	行動科学に基づく動機づけとリーダーシップ理論② 動機付け	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、資料 整理と復習	120 分
9	行動科学に基づく動機づけとリーダーシップ理論③ リーダー シップ理論	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、資料 整理と復習	120 分
10	組織文化論	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、資料 整理と復習	120 分
11	人的資源管理① 雇用計画・人事評価	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、資料 整理と復習	120 分
12	人的資源管理② 賃金・人材育成・日本的雇用管理	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、資料 整理と復習	120 分
13	経営組織の形態 ライン、スタッフ	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、資料 整理と復習	120 分
14	実企業における組織形態	授業予定該当ページの読解、疑問点の把握、資料 整理と復習	120 分
15	機動的な組織形態、まとめ	講義全体を通じた疑問点の把握、講義後の資料整 理と復習	180 分

⑫ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 AL / 資格対応を行う。授業中に問いかけを行い、自らが考える時間を取り、その内容を発表し理解を深める。 毎回授業終了後に振り返りレポートを作成し、クラスルームを介して提出する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
昭和 63 年（1988 年）4 月から平成 31 年（2019 年）3 月まで 31 年間民間企業に在籍し、在籍期間中は、情報システム部門においてシステム設計と運用など、物流管理部門において新規仕組みの構築と運用改善・物流教育など、人事労務管理部門において制度設計や法令変更対応、組合との交渉など、総務部門において株主総会・取締役会の事務局運営やコンプライアンスなどの業務に従事した。実務担当者、管理職、グループ企業の取締役の経験など様々なマネジメント業務に携わった。
実務経験と授業科目との関連性
担当者としての実務経験や部門長として管理職経験、役員経験を活かし、実務経験がなく、実務を想像しにくい学生に対して、より実務的に、具体的にビジネスの遂行・企画・具現化・改善などの一連のプロセスを教授することができる。 現場で発生している問題など具体的な事例をもとに、課題解決策の策定などについて、興味深く説明することができる。